

2025 年 1 月 17 日

2024 年 12 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参、金融関連に動きがみられたものの、仕事量の減少もあり前年を下回った。

巻取も学参、生損保、チラシ関連に大口案件がみられず前年を下回った。

（前年比 平判 96.4% 巻取 96.5%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の入札案件の減少により前年を下回った。

巻取は定期案件以外に大口入札案件の受注により前年を大幅に上回った。

（前年比 再生上質平判 96.5% 再生上質巻取 141.0% 再生上質計 123.3%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 96.4%）

<A2 コート>

平判は、イベントや旅行関連で一部動きがあったが、商印関連の印刷物、雑誌の落ち込みが大きく、グロス・マット共に前年を下回った。

巻取は、食品デリバリー、ドラッグストア、不動産等で一部動きがみられたが、恒常的に雑誌、商印等においても落ち込みが続いており、グロス・マット共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 95.2% 巻取 74.8% 全体 90.8%）

<A3 コート>

食品デリバリー、スーパー、ホームセンター等のスポットチラシで動きがみられたが、カタログ等の商印の動きが悪く、前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 80.8% 巻取 76.6% 全体 78.0%）

<ノーカーボン紙>

平判は前月好調の反動。歳末商戦の手書き帳票の動きも少なかった。巻取は金融・生損保の動きも低調で自治体案件が若干動いたものの低調で、巻平共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 74.3% 巻取 64.5%）

<上質フォーム>

自治体の通知書案件や医療費通知などの動きはあったものの、スポット案件も少なく前年を下回った。

（前年比 95.2%）

<包装用紙>

金融保険・一般企業向け封筒等が昨年とほぼ同等の動きであった事により、大幅な需要減となった昨何を何とか維持した数量となった。

純白ロールは菓子等の包装用途は堅調ではあったが、商業施設、スーパーマーケット向け包装紙の動きが比較的鈍く、昨年の数量には届かなかった。

包装紙全体では 100.1%と昨年並みの数字となった。

(前年比 100.1%)

<板紙>

コートボールは商品値上げが続き買い控えの影響もあったが、前年並みであった。

特板は中国の輸出向けが不調であったが、国内の化粧品・医薬品関連が堅調で、前年を上回った。

高板はトレーディングカード需要が堅調、商印・出版で動きが有り前年を上回った。

チップボールは出版用途で落ち込みが続いているのと、パッケージ用途で米坪ダウン、ノーコートボールへの移行も多く低調であった。

全体では昨年在低調であったため前年を上回った。

(前年比 103.3%)